

主催 One Purpose Music Arts



<https://one-purpose.jp>

One Purpose Music Artsは、「日本を挑戦で溢れる社会に変える」を理念に、株式会社One Purposeが2022年より開始した音楽関連社会貢献事業の名称です。音楽×〇〇という様々なコラボイベントを通じて、お客様に学びや感動体験を提供し、明日から『何か新しい行動を起こしたくなる』ような気持ちになれる活動を目指しています。メインビジネスとしては、東京証券取引所が運営するTOKYO PRO Market市場における株式上場コンサルティングや社外CFOサービスの提供を通じて起業家支援を行っています。



管弦楽 かながわチェンバーアンサンブル

<https://www.kanacham.com>

一般社団法人かながわチェンバーアンサンブル（通称：かなチェン）は、2022年神奈川県横浜市を拠点とし、プロ演奏家を中心としたオーケストラとして設立。通常の定期公演（自主公演）に加え、バレエ団や合唱団との企画コンサート、企業のパーティや結婚式などでの演奏といった様々な音楽シーンに合わせた演奏活動を行っています。



指揮 磯部省吾

1979年愛知教育大学卒業、翌1980年同大学研究科修了、1984年桐朋学園大学修了。1985年、東京バレエ団「くるみ割り人形」公演でデビュー。これまでに、日本バレエ協会、牧阿佐美バレエ団、松山バレエ団をはじめ、我が国を代表する諸団体の公演において指揮してきたが、2005年にはKバレエカンパニーの初代音楽監督も務めている。2020年、21年には東京バレエ団「くるみ割り人形」公演ツアーに同行、また本年2月には同バレエ団「白鳥の湖」を指揮し、いずれも好評を博した。オペラでは、1990年オペラ・クリエーション・イン青山公演「三つのオレンジへの恋」でデビュー。このほか市民オペラの立ち上げ等に指導的立場でかかわることも多い。札幌交響楽団、仙台フィル、東京フィル、東京交響楽団、東京シティフィル、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪フィル、関西フィル、広島交響楽団、九州交響楽団、上海オペラハウス管弦楽団など、国内外のオーケストラに客演。これまでに山形大学教育学部音楽科非常勤講師(指揮法)を務めたほか、東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美(現・尚美ミュージックカレッジ)講師(指揮法・オーケストラ)なども務めている。現在、昭和音楽大学非常勤講師。



オルガン 柳澤文子

東京藝術大学オルガン専攻卒業、同大学院修士課程修了。スウェーデン・ビデオ音楽大学ソリスト科修了。横浜みなとみらいホール・ホールオルガニスト・インターン修了。ルツェルン市「メシアン・バッハ国際オルガンコンクール」第1位。オルガンを今井奈緒子、廣野嗣雄、三浦はつみ、H-O. エリクソン各氏に師事。日本や欧州で独奏や、合唱やオーケストラ等と共演。近年、野田美香とのオルガンドュオ「グランジュ」でも活動している。2016年まで関東学院六浦中学校高等学校オルガニストを務める。現在、フェリス音楽教室講師。日本キリスト教会湘南教会、日本バプテスト同盟霞ヶ丘教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。サクラミュージック・オルガン教室主宰。

本公演の聴きどころ

月オルガンの名曲

オルガンの演奏を教会で、しかもオーケストラと共演する形で聴く機会はなかなかありません。今回は、だれもが知っているオルガンの名曲「アルビノーニのアダージョ（実は、オーケストラ伴奏の曲です）、そしてオルガン協奏曲と言えばこれ！という「ヘンデルのオルガン協奏曲第6番」に加え、ソロ曲としてはとても有名な「バッハ 小フーガ」の3曲を演奏します。教会で聴く、オルガンソロやオーケストラとの共演。なかなか聴けないプログラムです。

月ハイドン「哲学者」

この曲の管楽器編成は、コールアングレ（イングリッシュホルン）2本、ホルン2本となっているため、アマチュアオーケストラではまず演奏されません。プロオーケストラでもめったに取り上げられないことのない曲ですが名曲の一つです。コールアングレとホルンが、まるで禅問答でもしているかのような第1楽章が特徴。ちなみにこの部分は、禅問答ではなく、「神と軽薄な罪人の対話」というイメージだそうです、なかなか秀逸です。

月ヘンデル「王宮の花火の音楽」

この曲も、とても有名な曲ではありますが、管楽器がトランペット3本、ホルン3本、オーボエ3本、ファゴット1本という編成のためアマチュアオーケストラ、プロオーケストラのいずれにおいてもあまり演奏される機会のない曲です。ロンドンのテムズ川に打ちあがる花火を思い浮かべながらお楽しみください。



社会福祉法人 **日本介助犬協会**
人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして



介助犬とともにいつでもどこでも一緒に暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

犬の可能性を信じ、一人ひとりのニーズに寄り添って歩む、人と犬をつなぎ、和を創るプロフェッショナル集団です。

介助犬は、手や足に障がいのある人の日常生活動作を手助けします。

本公演は、日本介助犬協会の活動を応援しています。そのため本公演の際、トレーニングを兼ねてワンちゃんたちが来場し、皆様と一緒に公演を聴きますのであらかじめご了承ください。

おとなしく聴けるから
安心してね

